

令和4年度首里城扁額製作検討委員会

第2回 検討委員会資料

3月2日（木）14:00 - 16:30

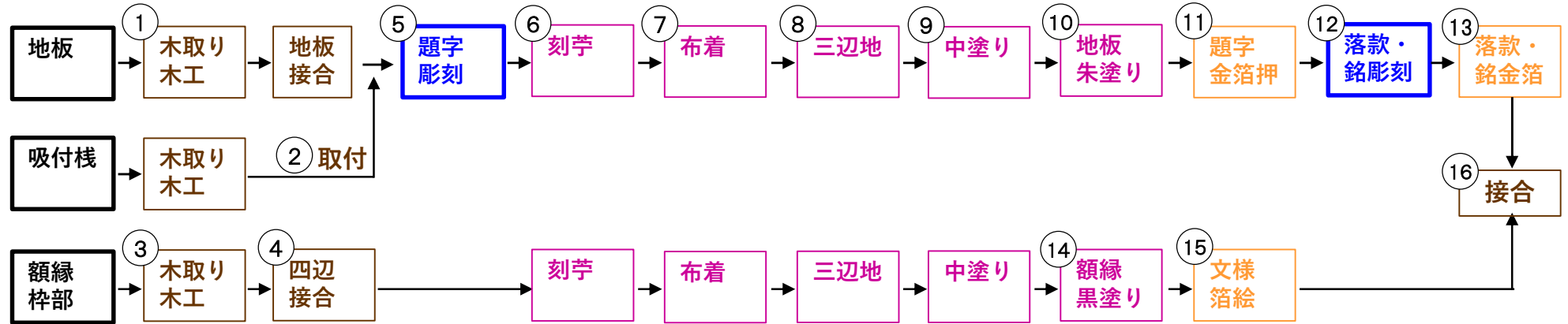
【資料5】製作工程手順

- 5-1.前回製作時の工程手順
- 5-2.尚家文書にみられる工程手順
- 5-3.今回製作時の工程手順

5-1. 前回製作時の工程手順

(2) 前回製作時の工程手順 (想定)

前回製作時の報告書を参考に、製作手順を整理した (想定)。



凡例： 木工 文字彫刻 髹漆 加飾

※扁額裏面の掻き合わせ塗りの工程は、報告書では読み取れないが、地板と額縁枠部ともに、刻苧・布着・三辺地・中塗りの間に行ったと考えられる。



粗木取り (地板)



吸付き棧取付



粗木取り (額縁)



仮組検査 (H13.11月)



文字彫刻



刻苧埋め (地板)



布着せ (地板)



地付け (地板)



中塗り (地板)



上塗り (地板)

5-1. 前回製作時の工程手順

(2) 前回製作時の工程手順 (想定)

前回製作時の報告書を参考に、製作手順を整理した (想定)。



⑪ 文字：金箔押し (H14.7月)



⑫ 落款：彫刻 (H14.8月)



⑬ 落款：金箔押し (H14.8月)



⑭ 上塗り (額縁)



⑮ 箱絵 (箱下漆)



⑯ 地板、額縁組立



⑰ 原字写し (カーボン紙使用)



⑱ 下絵作成 (原寸大)



⑲ 上塗り用間仕切ビニルフィルム設置状況

5-2. 尚家文書にみられる工程手順

※参考【尚家文書360】 工期3か月（実働約2か月）

翻刻	日付	概要
01/46下	8月11日	御筆の複写・扁額・軸装の製作の指示が下る。
08/46上	9月11日	各部の仕様について、見本とする先例の扁額が選ばれる
10/46上	9月13日	「中山世土」の額縁文様の写取りについて許可される。
10/46下	9月15日	額縁並びに添長押の文様の下書きを開始。
17/46上	9月28日	9/28に御筆の複写を始めるよう仰せつけられた。
18/46下	9月29日	扁額の[製作原寸図?]を枚原紙で作し、色塗りと額縁の雲龍文と七宝繫文を画いた。
19/46上	10月1日	御筆の写取りは今日(10/01)までの3日間で完成、枚原紙[製作原寸図?]は2通作成
19/46下	10月2日	枚原紙[製作原寸図?]に文字が写され、その内容監査が終了
20/46上	10月2日	本日扁額[製作原寸図?]が完成して、検品が完了
21/46下	10月3日	額字と額縁の彫刻を開始。
22/46下	10月4日	額字と落款印の彫刻作業は、去る3日より取り掛かり、6日までには完了できる予定。
22/46上	10月6日	今日からは塗りや磨きに移るよう指示がなされた。
23/46上	10月9日	設置予定の位置にある「弼服海隅」を掛け移す先に 添長押を取付けるよう寸法を測っておく。
24/46上	10月16日	扁額の彫刻作業が明日(10/17)中に完了するので18日の早朝の登城で取付金物を持参するよう指示が出る。
26/46下	10月20日	扁額の彫刻作業が終わり、額縁を全て閉合わせるように命じて済んだので、銅鍔を四隅へ裏側から打たせ、刻字詰めして地板に布着せして一辺地にとりかかった。
32/46下	11月10日	箔入まで完成。明日(11/11)に国王にお披露目。

8/11
扁額製作の
指示

9/11
参考事例の
指示

9/15
額縁文様下
書き

9/28
御筆
模写

9/29
原寸図
文様・
色塗り

10/2
原寸図
御筆転写

10/3
彫刻(額字
/額縁等)

10/6
塗り
磨き

10/20
接合
裏色塗り

11/10
箔入まで完
成

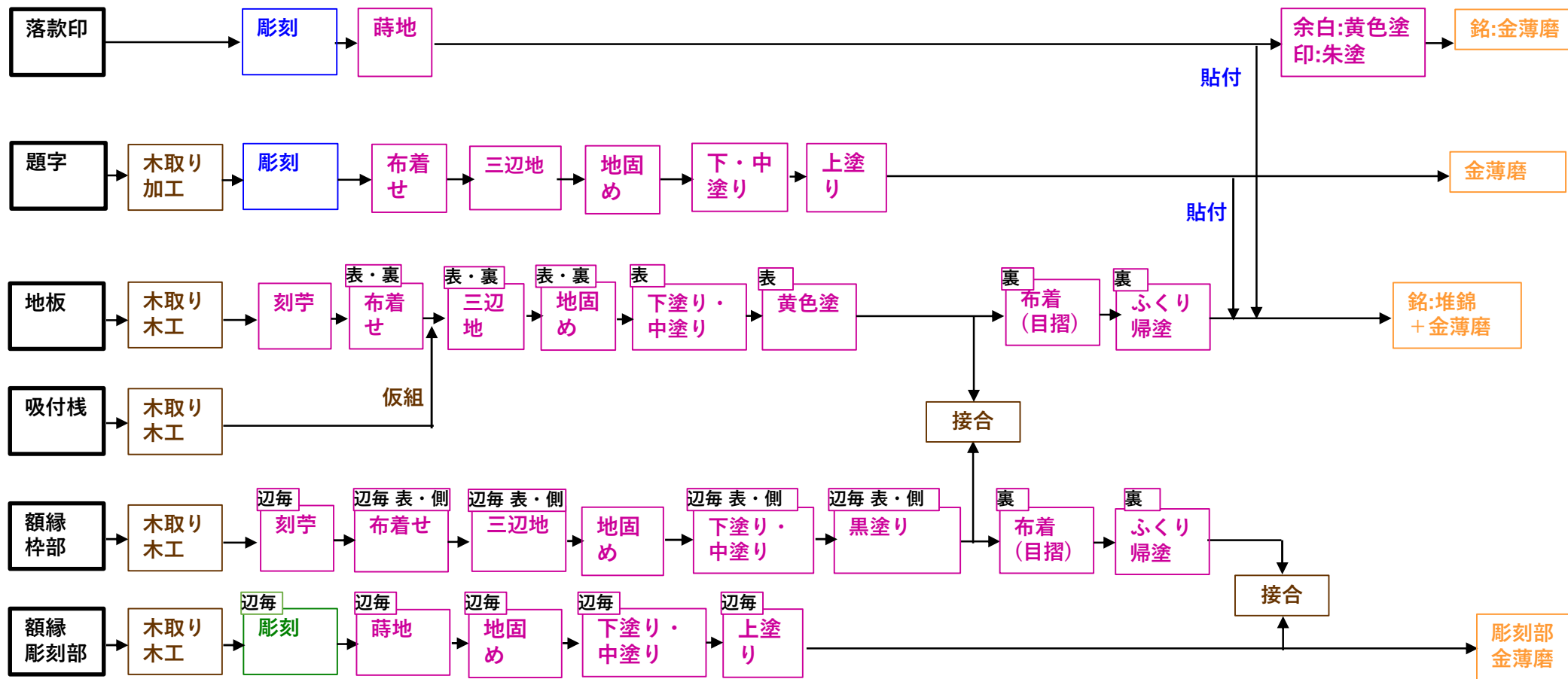
11/11
お披露目

5-3. 今回製作時の工程手順

今回製作での工程手順（令和5年2月22日時点）

2月20日の扁額「致和」熟覧調査を経て落款印・銘の工法を見直し、さらに2月22日の第3回髹漆・加飾ワーキングのご意見を踏まえ、工程手順を精査した。その結果を、以下に示す。

※題字と落款印は木彫・貼り付け、銘は堆錦



凡例： 木工 文字彫刻 額縁彫刻 髹漆 加飾